

## 平成27年度学校関係者評価シート(最終評価)

三次市立布野中学校

評価項目	評価	理由・意見
目標, 指標, 計画等の設定の適切さ	A	<p>○目標については, 中期経営目標, 短期経営目標ともに適切であると思います。</p> <p>○指標については, 小規模校の特徴や良さを活かして, 「生徒全員」という高いレベルに設定されており, これをやりきらせたいという組織としての意気込みが伝わってきます。</p> <p>○全般に, 「確かな学力, 豊かな心, 健康と体力」の各項目の目標がバランスよく設定されていると思います。</p>
目標達成に向けた取組の適切さ	A	<p>○「場に応じた挨拶ができる」では, 「指導レベルを統一し, 授業時を中心にやりきらせる指導を徹底する。」と明記され, 指導・改善を全職員で図られていることがうかがえ, ここに布野中学校のまとまりを感じます。</p> <p>○授業での挨拶にまだ課題があるようなので, 次年度に活かしてください。</p> <p>○少人数を活かした細やかな指導がされていると感じました。</p>
評価結果の分析の適切さ	A	<p>○「自己肯定感を高め, 思いやりの心を持った生徒を育てる」の評価指標やアンケートの内容等, 小学校と連携し一貫した指標の設定について考えていきたいと思います。</p> <p>○自己肯定感を測るアンケートでは, 現行の「自分に良いところがある」「周りから認められている」だけでなく, 自己肯定感が高まることによる学級集団全体の価値基準の向上, 規範意識の向上, いじめ件数の減少など, 学級集団の変容に係るアンケート内容も考えられます。今後, 小中で検討していきましょう。</p> <p>○「家庭学習習慣の定着」について, アンケートを行う時期による違いが考えられます。2時間という時間だけでなく, 学習内容の充実の程度を見たり, 試験期間中と普通の日を比べたりすることも分析の視点として良いのではないのでしょうか。</p> <p>○テスト等の評価だけでなく, 生徒たちの学校生活全般の状況やコミュニケーションの様子等を, よく分析されていると思います。</p>
今後の改善方策の適切さ	A	<p>○示された改善策でよいと思います。</p> <p>○一般的に良好である。</p> <p>○評価が下がった項目, また, 評価が上がった項目について, 良かった点, 悪かった点を生徒たちから聞き, 今後の指導につなげて欲しいと思います。</p>
総合評価	A	<p>○中学校のレベルの高い取組がよくわかります。小規模校の良さを活かしたまさに模範とすべき取組であり, 大きな成果を上げておられることに敬意を表します。</p> <p>○1年生の学力到達度検査における課題は, 小学校段階での学力の定着にも原因があると捉えています。</p> <p>○小中連携, 小中一貫教育の更なる充実を図っていききたいと思います。</p> <p>○全般に良好な学校評価がされていると思います。引き続きご指導をよろしくお願い致します。</p>

評価のしかたについて

- 1 上の表の「評価」の欄に, A (とてもよい), B (よい), C (努力を要する) をご記入ください。
- 2 「理由・意見」の欄には, 評価の理由, 布野中学校の教育活動へのご意見・ご要望等をご記入ください。